

福島宏紀区議の

区政レポート

北区豊島避難所(旧豊島北中)は入居者を一般募集することに

この避難所施設は、当初はコミュニティ単位で受け入れる方針でしたが、共産党区議

団の提案を受けて、既に北区内に震災で避難され、登録されている方(32世帯、51名)を第一優先の対象者とし、一般募集することになりました。

募集戸数は、当面の間、プライバシー確保の観点から15

なくなりました。共産党は6月区議会で予算枠の拡大を要求し、1000世帯追加(3倍化)の補正予算を実現させました。

「国保料値下げ」の陳情
不採択に

「高すぎる国民健康保険料」の改善をもとめる住民陳情が2団体から出され、区民生活委員会で審議されました。

私は委員として、区民の大幅値上げの実例を示し、採択を求めましたが、自・公・民・みんな・市民等の多数で不採択にされました。

世帯とし、開設期間は8月から来年3月までの予定となっています。食事は自炊ですが、

室料、光熱水費、駐車場は無料となります。

「家具転倒防止器具」

無料取り付け

まだ間に合いますよ!

この事業は、高齢者、障害者、ひとり親世帯を対象に実施されています。3・11

東北大地震後は家具転倒防止に関心が高まっており、区に用意した500世帯分が足り

小・中学校、保育園、幼稚園の放射線測定が始まっています

ますが、共産党区議団は7月19日、結果についての説明会や学習会の開催、北区としての放射線の対策基準を示すこと

など、放射線から子どもを守る施策等の実施を花川区長に求めました。大震災関連としては5回目の申し入れになります。

この中で、節電対策のため休止中の各公園の水遊び施設を、夏休み期間中は復活することが早速実現しました。



▶放射能汚染から子ども達を救おうと訴える福島のお母さんたち(7・2集会で)